

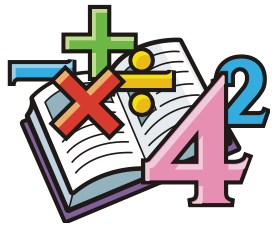
学習支援だより

～2014年秋号～

一般財団法人 学習能力開発財団 Lead



学校での授業が難しく、なかなかついていけないお子さんがいます。それでも定期的にテストはやってきて、点数が出るたびにショックを受け、落ち込むことの繰り返し…。



でも、焦るだけで的外れな勉強をしていたのでは、きっと何も変わりません。「頑張っても、どうせ私なんかダメなんだ！」と自信を失うばかりです。

そんな時には、本人がどこまでできていて、どこからわからなくなっているのか、じっくり観察して一緒に考えることが大切です。そして、今の学年にこだわることなく、思いきって数学年下の内容の復習から始めてみることも、時には必要なのではないのでしょうか。

テストの点数だけに一喜一憂するのではなく、その子本来の力が育っているか、将来生き抜いていくためのスキルや学力を身につけることができているか、そうした長期的な視点で子どもたちを見ていくことも大切だと思います。特に、小学校4年生くらいまでの算数・国語は、全ての学びの基盤となるものです。楽しく学び、自信をつけておきたいですね。

＜現場の声 ～個別授業教師の報告より～＞

その日やる内容を、小さなホワイトボードに順番に書いて示したところ、見通しがつき安心したのか大変よく集中して取り組むことができた。授業のポイントなども書いて利用している。

(小4)

漢字の画数が多いと最初は諦めムードだが、1画ずつ声に出して歌うように一緒に書いてみたら楽しく取り組めた。特に低学年では楽しむ要素があることが大切だと思った。

(小3)

夏休みが終わり、学校生活が始まってしばらくしたら心身に疲れが出てきたようだ。よく話を聞きながら、できるだけ気持ちの面でもサポートしていきたい。

(小6)

言語的な力をつけるため、語彙や作文、会話など様々な視点から対策を行っている。社会に出た時にシワリと役に立つスキルが身につくよう意識している。

(高1)

一般財団法人 学習能力開発財団 Lead

仙台市定禅寺通りにある、特別なニーズに対応する学習支援団体です。発達障害のあるお子さまへの学習支援、遺児支援などを行っています。アセスメントのための授業など、お問い合わせはお気軽にどうぞ。

電話：0120-001-296

メール：info@lead.or.jp